

夢を叶えるために

高千穂町立高千穂中学校 佐藤 樹規

私の志は、牛を育てる農家になって減ってきている農家を継いだり、命を責任持って育ててお店に並ぶ牛肉にすることで社会に貢献したりすることです。一見地味に思えるかもしれませんが、この仕事には多くの学びと責任があり、大きなやりがいがあります。

私は、命を育て、命をつなぐこの仕事を自分の人生の中心にしたいと考えています。私の実家は肉用牛を育てる畜産を営んでおり、小さい頃から牛と触れ合いながら生活していました。学校から帰ってくると牛養いの手伝いに行ったり、休みの日は牛のえさの草を父と一緒に取りに行ったりすることが日常でした。最初は、ただの手伝いでしたが、最近は牛を育てることを学びながら手伝いをするようになりました。そのような日常の中でも老衰や生まれたての子牛がなくなるなどの命にかかわることもあります。このような時、命が消える瞬間を見て何とも言えない悲しさを感じます。また、その時は「農業は自然や命と向き合う仕事だから、簡単ではないんだな」と思います。そして、命を大切にすることで、人とのかわりは大切なものではないかと思っています。

農業は「食べ物を作る仕事」だと思われることも多いですが、それだけではないと思っています。牛を育てるということは、その命に責任を持つことが大事であり、病気を防ぎ、元気で立派に育てていくには、しっかり世話をし、知識や経験も必要です。私は、職場体験でJAの畜産課に行ったとき、職員の方に「何をするにしても経験を積むことが大事」とアドバイスをもらいました。このことから、私は中途半端な気持ちではこの仕事に向き合えないと感じています。

今、日本の農業はさまざまな課題を抱えています。高齢化や後継者不足、気候変動による影響もあります。私はこのピンチをチャンスに変えて若い世代だからこそできることのITデータを使ったスマート農業や新しい販売の仕方などに挑戦してみたいです。このような取組が、未来の農業の明るい可能性につながっていくのではないかと思います。

私は、ただ牛を育てるだけでなく、「地域に根差し、未来につながる農業」を目指していきたいです。高千穂の子どもたちが生き物で触れ合い、命の大切さを伝えることもやってみたいと思います。牛と共に生き、命を育て、支える。そのような生き方を私は誇りにしたいです。

この夢を叶えるためにも勉強に励み、畜産の知識を知ることが自主的に取り組んでいきます。そして、経験を積んで知識を得るために多くのことに挑戦し、様々な面で成長できるようにがんばりたいです。